

様式 C - 7 - 1

## 平成24年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 

3	2	6	9	2
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 研究活動スタート支援 4. 補助事業期間 平成23年度～平成24年度
5. 課題番号 

2	3	8	9	0	2	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題 肢体不自由児施設での性と生の教育プログラムの構築に関する研究

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 6 1 4 6 2 3	テラモト マサエ 寺本 正恵	医療保健学部	助手

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

## 9. 研究実績の概要

肢体不自由児施設における3歳から18歳の子どもの対象に、障がいや生い立ちを踏まえつつ豊かなセクシュアリティを育むことを目的に、肢体不自由児施設で生活する子どもの実態を明らかにし、「性と生の教育プログラム」の開発に取り組んだ。

平成24年度は、平成23年度に子どもからの聞き取り調査で明らかになった性教育への反応や要望をもとに、プログラムの概要を見直し、施設で新プログラムに取り組んでいる。

研究成果：平成24年8月に、「人間と性」教育研究協議会夏季セミナーにて、見直した教育プログラムの模擬授業を行い、特別支援学校教員、養護教諭、心理士、栄養士、医師、助産師、児童養護施設職員などの多職種から助言等を頂いた。そこでは、肢体不自由児施設で生活する子どもに関わる他職種との連携をより強化していくことの必要性や、セクシュアリティを育む為の基盤となる「障がい告知」「生い立ちの告知」をどのタイミングで、どのように行う必要があるのかなどの議論が生じた。子どもの求めるニーズに沿いつつ、子どもにとって最善のアプローチ方法を今後も検討していく。その為、今後は、施設で生活する子どもの中でも思春期に焦点をあて、障がい受容や生い立ちの整理をどのように行いつつ二次性徴する体へ適応し、自身の性を生きて行くのかを、思春期の時期に施設で生活していた成人へのインタビュー調査から明らかにしていく予定である。

## 10. キーワード

(1) 肢体不自由児

(2) セクシュアリティ

(3) 性と生

(4) 肢体不自由児施設

(5) 看護

(6)

(7)

(8)

## 11. 現在までの達成度

(区分)

(理由)

24年度が最終年度であるため、記入しない。

## 12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

24年度が最終年度であるため、記入しない。

## 13. 研究発表(平成24年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
			----		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					

(学会発表) 計(1)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名		発表標題		
寺本正恵		肢体不自由児施設での「性と生の教室」		
学会等名	発表年月日	発表場所		
人間と性 教育研究協議会	2012年08月04日～2012年08月05日	山口大学(山口県)		

(図書) 計(0)件

著者名		出版社		
書名			発行年	総ページ数
			----	

## 14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕計( 0 )件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

--